

令和6年度「一般選抜前期日程試験（個別学力検査・英語）」講評

ねらい

前期試験では、大学で求められる基本的な学力を試すことを念頭に、共通テストとは異なる視点で総合的な英語力を問う。具体的には、長文の内容を素早く読み取り、その要点を英語で簡潔に表現する力や、未知の語彙についてその意味を文脈から判断し的確に捉える力（あるいはその説明箇所を的確に理解する力）、自分の考えを英語で論理的に表現する力を試すことをねらいとしている。

全体講評（Ⅰ・Ⅱ）

「ねらい」にある「要点を英語で簡潔に表現する力や、未知の語彙について文脈中で説明されている箇所を的確に理解する力」を試す問題である。記述式問題の解答においては、問題文の意味を読みとれていない解答や、正解に該当する箇所をただ抜き出しているだけの解答、完全な文（主語、動詞を伴う文）で答えられていないものなどが多かった。正解を導き出すには、本文だけでなく問題文もよく読み、問いに対応させて本文の表現を活用して答えることも重要である。日頃から主語と動詞の対応などを考えながら、英文の問いに対して適切に対処する練習を行ってほしい。接続詞、形容詞、副詞などに着目して、文の大意を把握することを心がけよう。また、難しい単語であっても、前後の内容からある程度意味を予想できる力も養ってほしい。

各設問（Ⅰ・Ⅱ）

Ⅰ

問1

- (ア) 1行目の and で前半と後半が分かれるという単純な構造であるが、受験生の語彙力が出来・不出来を分けた。前半の appointment（任命、就任）を「約束、予約」と訳した受験生が大半を占めた。また、fire に「解雇する」の意味があることを知らず、「戦い、ファイリング、燃焼」など内容に合わない訳を書いた受験生も多かった。後半のコロン以下は、message の内容を示している。形容詞 capable（有能な）を名詞 capacity（収容能力、容量）と取り間違えた答案もあった。ここでの in charge of は「～の指揮を任される」という意味が自然だろう。部分点をもらった受験生が大半で、完全正解は1割程度であった。
- (イ) この英文の和訳のポイントは、関係代名詞の非制限用法である。先行詞にヴィルダという固有名詞がきて、その直後にコンマ、関係代名詞の who がある。したがって、この英文は、「スペインのトップ選手の多くが、ヴィルダの指揮の下でプレーするのを拒否した。彼はあまりにも支配的だと彼女たちは口にしていたのだった」のように、who 以下がヴィルダに関する説明を付け加えるように和訳しなければならない。
- (ウ) 前半部分は、resign「～を辞任する」の意味を取り違えて「もう一度サインする」などとしている解答が非常に多かった。また、Rubiales had been expected...という受動態の文であるのに、「Rubiales は…を期待していた」と能動的に訳して、by many「多くの人々によっ

て」を無視しているものもしばしば見られた。和訳問題は主語、動詞、目的語などの文の構造をしっかり踏まえた上で解答すること。後半部分は refuse「～を拒否する」の意味が分かっているものに関してはある程度点数を与えたが、firmly「しっかりと」を family と読み違い、まったくの見当はずれの解答になっているものも散見された。完全正答は 2 割に満たない程度で、半分程度点数を与えたものが 5 割、完全な誤答が 3 割程度であった。

問 2

(共通) 空所補充問題。総じて正答率は 5～6 割ほどであった。共通テストであまり問われないとはいえ、文章の細かいニュアンスを理解するためには文法・語法の理解は必須である。普段からの継続的な学習を行ってほしい。

- (A) 空所に続く部分が SV をともなった形になっていないことから、接続詞 if は不適で、who、which、where のいずれかの関係詞を選ぶ問題であることが分かる。先行詞になりうるものは fallout「影響」、actions「行動」、Rubiales、Women's World Cup Final のいずれかであるが、空所に続く部分が「花形のフォワードの選手に無理矢理キスしたことを含む」の意であることを考えると、少なくとも Rubiales は先行詞ではないことが分かる。よって物や事柄を先行詞とする際に用いる◎which が正解。
- (B) 空所直前の investigate は「～を捜査する」の意で、後ろに目的語を必要とする他動詞である。空所以下の部分を investigate の目的語になる名詞節にできるのは that と whether のみ。空所を含む第 12 段落の時点ではまだ Rubiales の疑惑は確定したわけではないので、whether he committed a crime「彼が罪を犯したのかどうか(ということ)」を捜査するとすると文脈に合う。よって④が正解。
- (C) 適切な助動詞を選ぶ問題。選択肢の中のどれを入れても文法としては間違っていないので、空所の前後の内容を踏まえて、ふさわしい意味を持つものを選ぶ必要がある。空所を含む第 15 段落には、冒頭に We feel deeply sorry...「我々は大変申し訳ないと思っている」とあり、その後に「それゆえに」(therefore)、「私たちは謝る」(we (C) apologize) と書かれている。文全体のロジックを考えると、③の must が正解だと分かる。

問 3～5

(共通) 語の同義語や定義を答える問題。正答率は 5 割程度であった。こういった問題は、単語の意味を知っているかどうかではなく、文脈から語の意味を推測できるかを問うている。前後の内容をしっかり読んでから答えてほしい。

問 3

helm は「(船の) 舵」の意で、at the helm は「実権を握っている、指導者である」の意の成句。本文では first matches with Tomé at the helm「Tomé が at the helm にいる最初の試合」という形で用いられている。第 1 段落第 1 文にあるように、Tomé はスペインの女子サッカー代表の新しい監督であるため、④ as manager が正解だと推測できる。

問4

wringer は「wring(しぼる、搾取する)人、物」の意で、be through the wringer は「苦しい状況に置かれる」の意の成句。この成句を含むダッシュ以下の部分は、「チームはワールドカップで優勝して以来、ずっと be through the wringer な状態にあった」となるが、現在完了形の継続用法が使われていることから、この成句が女子サッカースペイン代表チームのこれまでの状況を表すものであることが分かる。第1～5段落にあるように、チームはワールドカップ優勝後、ハラスメントの一件で揺れていたため、㉔が正解だと推測できる。

問5

roster は「登録選手一覧」の意で、on the World Cup roster で「ワールドカップの選手一覧のリストに載っている」となる。この表現を含む第9段落第2文の後半に「だが、他の選手はスペイン代表が最初のタイトル獲得に向けてトーナメントを進んでいる時に家にいた」とある。この部分の冒頭に but が使われていることから、語句の意味を問われている第2文の前半は試合に出場した選手に関する記述であると推測できる。よって㉕が正解。

問6 role は「役割」であるので、どのような役割を担うことになったのかという内容説明が求められる。文章全体からも確認できるように、「スペインの女子サッカーチームの監督をする役割」である。解答作成においては、role の訳語を活かして、「～する役割」とまとめると良い。

問7 名詞 leaders が複数であることから、複数の人物名を挙げる必要がある。英文の第5段落の“the current leaders”の次の行に demanding the removal of both Rubiales and Vilda があることから、それが Rubiales と Vilda であることがわかるだろう。関連する箇所を本文から丸写しをしても、正解とはならない。正答率は2割程度で、5割が部分点であった。

問8 its first title の内容を説明するためには、its と first title が何を示すのかを特定しなければならない。its の内容は、its のすぐ前にある Spain's team、つまり「スペインの女子サッカーチーム」になる。また、first title の内容はそれまでの英文の流れ、および、first title の直後に in the tournament が来ていることから考えて、「ワールドカップでの(初)優勝」になる。したがって、its first title の内容は、「スペインの女子サッカーチームのワールドカップでの(初)優勝」となる。

問9 問題文は「なぜ第11段落で Hermosa は自分が「攻撃の被害者」だと言っているのか？」の意。「攻撃の被害者」(“the victim of aggression”)という言葉が使われている第11段落第2文には、「Rubiales は Hermosa が同意したからキスをしたと言っているが、彼女はその主張を受け入れなかった」とある。つまり、彼女は自分を被害者だと感じたのは、「Rubiales が同意なくキスをしてきたため」である。このような趣旨に解答をまとめるとよい。正答率は2割程度と大変低いものであった。特に多かったのは“Rubiales has kissed

“Hermosa with her consent”であったが、そもそも同意しているのならトラブルになっていないのでこの解答は0点とした。また、“she has rejected that claim”という解答も多かった。これについては that claim の内容が解答から分からないので、減点した。英問英答の問題はただ本文を抜き出せばよいのではなく、問われている内容に沿う形にパラフレーズする必要がある。参照する箇所が合っていたとしても、この問題のように抜き出すだけではまったく逆の解答になってしまうこともあるので、注意が必要である。

- 問 10 下線部はそれぞれ、①「著しい成長」②「彼の行い」③「不適切な行為」④「気高さと国際的な名声」⑤「このような出来事」の意。もちろん、語句の意味がわかっただけでは正解できないので、前後の内容を理解した上で解答する必要がある。②を含む第 10 段落の主語は Rubiales であるため、his は彼を指すことが分かる。また、③の直前には Rubiales' という単語がある。Rubiales の行為とは女性選手に同意なくキスをしたことを指しているのは本文全体から明らかである。このような行為が“growth of women’s football”「女子サッカーの成長」であるはずがないので、少なくとも①と②、③は異なるものを指していることは、たとえ remarkable の意味が分からなくても判断できる。また、④を含む第 14 段落には、「スペイン社会の nobility and international prestige が Luis M. Rubiales によって damage された」と書かれている。語句の意味が分からなくても、文名の内容を考えると下線部がポジティブな意味合いのものを指すことが推測できる。一方、⑤を含む最終段落には、「events like these が二度と起こらないと約束しなければならない」という趣旨のことが書かれており、下線部がネガティブな意味合いのものを指していると分かる。よって、①と④が正解。どちらかを正解している解答が 6 割、2 つとも正解または不正解のものがそれぞれ 2 割程度であった。

II

問 1・2

(共通) 語彙知識に関する問題。未知語に関しては、前後関係から意味を推測する必要がある。

問 1

Shut-eye は文字通り「目を閉じること」で、それを含む第 1 段落の第 1 文に「機内で目を閉じようとしている乗客」とあるので、shut-eye が「眠ること」の意味であることは、この時点でもおおよそ推測できる。また、その直後の「その（眠る）計画を、機内を照らす光り輝く帽子を被った子供に台無しにされた」、第 7 段落の「眠ろうとしている時に突然機内がパーティーのような状態になるのを想像してみてください」、第 12 段落の 2 文目の「（機内には）ゆっくり休んだり、読書をしたり、映画を観たい人などがいる」という箇所からも推測できる。よってここでは③の a good sleep が正解。

問 2

Verdict は難易度の高い語であるが、前後の話の流れを正しくつかめていれば比較的容易に解答できる。第 6～10 段落までの動画の視聴者からのコメントを受けて、第 11 段落では客

室乗務員も機内で光る帽子を被ることは不適切だという意見に同意し、続く第 12 段落で自分の見解を述べている。よってここでの provide her verdict は「自分の見解を示す」という意味であり、④の opinion が正解。①の不平、②のジョーク、③の疑義、は当てはまらない。同じ文中の weigh in は「(議論などに) 加わる/意見を述べる」の意味である。

問3

必要に応じて動詞を適切な形に変える空所補充問題。完答の答えは少なかった。空所の前後部分の読み取りと文法力が問われる。スペリングの間違ひも散見されたので、日頃から英作文等で正しい形で書く習慣をつけてほしい。

- 【A】 空所【A】を含む文の前段落で、機内の様子を撮影するカメラの動きが、後方から、ナイトクラブのような明るい光を放つ左側に移動したと書かれている。それを受けて直後の空所【A】の文では、「それから (then) カメラはまばゆい色とりどりの、上にピョンと飛び出したウサギ耳をした帽子を被っている (当事者である) 子供に焦点を当てた」という流れになるので、空所に入る語は過去時制の focused である。空所直後の前置詞 on がヒントであり、focus on～「～に焦点を当てる」の連語を知っているかどうか問われる。
- 【B】 空所【B】を含む第8段落は、動画を視聴した後に投稿された3人目のコメントである。空所を含む文は、「何時間もずっとそのような状況に置かれたい人など誰一人いやしない」という意味で、不定詞の直後なので動詞の原形の deal を入れる。直後の前置詞 with もヒントであり、deal with～「～に対処する/～を扱う」を知っていれば容易に解答できる。
- 【C】 空所【C】を含む第12段落は、動画の視聴者5人のコメントを受けた後での客室乗務員の見解である。第11段落では、この客室乗務員も機内で光る帽子を着用すべきではないという立場をとっているため、空所【C】に入れる単語は put である。Put O away～は「Oを脱ぐ/取る」の意味であり、助動詞 should の直後なので動詞の原形で解答する。

問4 下線部和訳問題。平易な英文ではあるが、語彙の意味を取り違えた解答が多かった。前半部分の call for child-free flights 「子どもが搭乗しない飛行機を求める」をきちんと訳せるかがポイントだが、正答率は低かった。本文が、機内のマナーの悪い子供を撮影した動画を見て人々が苦言を呈する内容だと読み取れば、そのような状況下で人々が何を要求するかは推測できるだろう。ここの free は「(不快なもの・心配なもの) がない/入っていない」の意味であり、sugar-free coffee 「(無糖) コーヒー」やグルテンフリー食品などは聞いたことがあるのではなかろうか。普段から英文を読んで自分の意図する意味とは違う単語に遭遇した場合に、「なぜこの意味になるのか?」という疑問を持って調べてほしい。その他、主語の some people を「～な人もいる」ではなく、「いくつかの人々」とした受験生が多かったが、日本語として不自然である。動詞の call for～は「～を要求する」。

- 問5 解答として、多くの受験生が本文中の文章（例えば、Before it slowly moved around to the left as bright flashes of light appeared like something out of a nightclub or rave.）を写していたが、それだけでは不十分である。設問に対する答えとしての形式が整っていないので、設問に対して答える英語力が受験生にあるのか採点者が判断できないからである。解答例は、The author compared the flashing lights in the cabin to the lights in a nightclub or rave. である。この英文は、設問と本文中の語句を単純につなぎ合わせただけである。それでも、受験生が設問の内容を理解していること、それに対する答えがわかっていること、簡単な英語で表現できる力があることが採点者に伝わることになる。
- 問6 多くの受験生が、The child wearing the hat with flashing lights caused a problem.（点滅するライトをつけた帽子をかぶった子どもが問題を起こした）と答えていた。しかし、実際のところ問題なのは、子ども自身やその行動ではなく、帽子の点滅ライトであった。また、点滅する光のついた帽子が引き起こした問題（てんかん発作など）だけに触れて、その原因に全く触れていない答案もあった。解答例の The bright hat with flashing lights caused a serious problem. は、短い文ではあるが、完成度が高く、問いに明確に答えている点に注意してほしい。
- 問7 指示語の it を明示した上での下線部和訳問題。現在完了時制なので、冒頭の接続詞の since は「～以来/～してから」の意味でとるのが自然だろう。文中の it は「670万回を超える視聴を受けたもの」なので、解答は「（機内のマナーの悪い子供を撮影した）動画、ビデオ」となる。本文中の the video（第2, 11段落）や the clip（第3段落）がそれにあたる。付帯状況の with 構文「with + O + ~ing」の訳出に関しては、自然な日本語になるよう工夫が必要である。後半の仮定法過去の英文和訳の正答率も低く、how angry they would be（どれほど腹が立つだろうか）の部分を「どのように怒るか」という誤訳が散見された。
- 問8 第12段落の a tiny tin can は、比喩表現である。直訳は「小さなブリキ缶」だが、直後に「上空3万フィートの」とあるので、ここでは「飛行機」を例えていることがわかる。よって◎ a plane が正解。第12段落は、動画とそれに対する人々のコメントを見た客室乗務員が、子供のマナーの悪さをたしなめて機内の人々への配慮を求める内容なので、「飛行機の中でそのような人の迷惑になる帽子を被るべきではない」との立場をくみ取れば、そこからも解答につなげることはできるだろう。選択肢④は金属の箱、⑤はフラッシュライト、⑥はジュース缶。
- 問9 多くの解答が、本文の一部を写しただけであった。例えば、The flight attendant said that it was not appropriate to wear the hat. / The flight attendant said that the child should leave the hat for home or amusement parks. / The flight attendant said the child should take off the hat. であれば正解となりうるが、She, too, agreed that it wasn't appropriate to wear the hat. のように、無関係の箇所から写した受験生が多かった。中には、他人への配慮について述べた受験生もいたが、どう行動すべきなのかという点が欠けていた。

問 10 本文の主要テーマを尋ねる問題。最も適切なものは④ 「機内でのマナーについて読者に考えてもらうこと」である。その他の選択肢は、① 「機内でよく眠れる方法を読者に提示すること」、② 「悪さをした子供を罰すること」、③ 「客室乗務員がいかに機内で勇敢に行動できるかを読者に伝えること」、で全て本文全体の主要テーマではない。

問 11 例えば、If I were a passenger, I would tell the child to take off the hat because it could annoy other passengers. / I wouldn't tell the child anything because I worry about upsetting her parents. のように、If I were ..., I would/wouldn't/would hesitate to ... because の形式を使い、さらに、論理的で、関連性があり、合理的な理由を述べること。中には、「子供には自己表現の権利があると思うので、帽子を取るように言わない」という内容の英文を書いた受験生がいた。確かに、そうかもしれないが、本文の要点（そのような帽子をかぶることの危険性）を理解していないことになる。この点に注意されたい。

III

総 評

昨年度と同じく、100 語程度のパラグラフを書くという問題が2問出題された。受験生は、限られた時間の中で各トピックについて、英文パラグラフの基本ルールに従って簡潔かつ論理的に自らの考えを英語で表現することが求められる。この点では大きな変更はなかったが、残念ながら準備不足のせいも、昨年度に比べると白紙の答案が多く見受けられた。それぞれのトピックについては以下に記した採点者からの講評を参考にして、今後の学習に役立てて頂きたい。

答案作成についての解答例および講評

最後に採点者による解答例と講評を載せておく。自学自習や学校の授業で今年度の問題を使われる場合は、こちらの解答例を模範解答としてお使いいただきたい。

Sample answers

Question one requires the writer to explain a problem. The wording of the question includes and highlights the word **another**; therefore the candidate should introduce a problem *different* to the problem in the reading.

There are two ways to explain the problem. First, the candidate may wish to give a definition, then some causes, and finally a solution to the problem. If the example was global warming, then the candidate can briefly explain that global warming is caused by the release of CO₂ and methane. Then, they can explain how humans create global warming by burning coal and driving cars. Finally, they may then wish to propose a solution of solar power or electric cars.

Alternatively, the candidate may wish to focus on three similar points. If the example was global warming, the writer should explain what global warming is. Then, the candidate could either describe three causes (cars, burning coals and oil for electricity, deforestation) or three effects (hotter temperatures, rising sea levels, stronger typhoons).

Many students wrote about power harassment. A basic answer, such as the one below, would score averagely:

Another social issue that I am worried about is power harassment. This is when an older person treats a younger person badly at work. For example, the older person forces the younger person to work later than other people, gives them a lot of complaints, or says rude words to them. A results of power harassment is that people cannot work properly. Also, they may feel a lot of stress and get sick. Finally, they may quit their job. To avoid power harassment, companies must give all staff training to understand and avoid power harassment.

To improve their score, the candidate can do some of the following things:

- ① Use a topic sentence that does not copy the exact wording from the question.
- ② Uses more specific vocabulary.
- ③+③ Connect ideas together
- ④ Uses more challenging constructs, such a correlative conjunctions and different tenses and aspects.
- ⑤ Attempt to use modal verbs.
- ⑥ Include a wrap up or conclusion.

① Power harassment is a social issue that companies and governments ⑤ must stop. Power harassment ② occurs when a ② senior worker mistreats a junior worker in a company. It can include the ② senior worker forcing the younger person to work ② unreasonable hours, ②criticizing them unfairly, using negative language when talking to them, or not helping the junior worker when they need help. Recently, ③ there have been ④ many stories about power harassment on the TV news and on social media. I have ④ picked up some of the negative effects that ③ were reported. Not only does power harassment stop people from working properly but ④ also leads to stress and even sickness. In the worst cases, some people might ⑤ quit their job. It is possible to avoid power harassment by teaching workers about it, making strong laws, and having good leadership. ⑥ I have explained what power harassment is, some of its effects, and what to do about it. Let's work together to have a comfortable workplace!!

Question two asked the candidate to explain their experience not their opinion. Many people mistakenly wrote about what they thought constituted bad manners rather than describing their experiences. The key to writing a good paragraph like this is to give plenty of details before, during, and after the event.

The following would score averagely:

I would like to tell you about a day when I suffered from somebody else's bad manners. To study for a test, I went to the library. The library is a quiet place, so I can study well there. I arrived at the library early. A person next to my desk was eating snacks! They were smelly. So, I did not study well. They ate for a long time, so I lost my concentration. Worse, their friend came and they chatted. I was angry. The library is not a place to eat and chat. I could not study. So I went home. This was the day I suffered from somebody else's bad manners.

To improve their score, the candidate can do some of the following things:

- ① Use a topic sentence that does not copy the exact wording from the question.

- ② Emphasize their feelings by using adverbs.
- ③ Emphasize their feelings by using a range of adjectives.
- ④ Use a range of connectors and transition words.
- ⑤ Create more complex sentences by using conjunctions.
- ⑥ Create a unique connection between the candidate and the reader by giving specific and/or personal details.

① Let me tell you about the time I got ② really angry at someone else's ③ terrible behavior. ④ As you know, studying hard to get a good entrance exam score is ② extremely ③ important in Japan. ④ Of course, I want to do well in the tests ⑥, ⑤ so I study hard every day. Three days before the university entrance tests, I went to the library. The library should be a quiet place so you should be able to concentrate and study very well there. To maximize my study time, I arrived at the library at exactly ⑥ 9:00 AM ⑤ and chose my ⑥ favorite table. ④ However, after studying for about one hour, another student at the next table started to eat snacks ② nosily. ④ Moreover, the snacks were very ② smelly, so I couldn't concentrate. I was ③ furious but I thought the person would leave at lunch time. Unfortunately, they did not leave; instead, their friend joined them and they started chatting. I realized I could not study properly, so I went home early. Because of somebody else's bad manners, I wasted the day. I hope I do not ⑥ fail the test because of them.

There are also some general errors and weaknesses that caused problems for students.

1. Verbs of communication. Candidates mostly used the word "say" when a range of more precise verbs, such as "tell", "complain", "ask", "warn", "advise", were needed. This is not only related to style but can also be ungrammatical, such as in cases involving information exchange: "I said him to be quiet."
2. Adjectives of feeling. Candidates did not expand on "feel bad" but a range of words, such as "shock", "surprise", "angry", "frustrated", "furious", could have been used.
3. Many candidates used the simple present or the simple past but very few attempted to use any other tenses.
4. There were many subject—verb agreement mistakes, such as "they was" "he play" These simple mistakes create a bad impression.
5. Formatting. A paragraph is a continuous piece of text about a single topic. Many students wrote separate sections for introductory and concluding sentences on separate lines. This is not necessary. Moreover, some candidates wrote one sentence per line. This is also a mistake.
6. Many candidates provided overly formulaic responses of the structure: ① restating the question as a topic sentence, ② writing "I have two reasons to support my opinion", ③ First, ..., ④ Second ... , and ⑤ concluding with "For these reasons I think ...".